

# 令和3年琴浦町区長会 説明資料

## 1 説明項目

- (1) 防災マップの活用について  
(総務課防災危機管理室)
- (2) 新型コロナウイルスワクチン接種について  
(すこやか健康課)
- (3) 琴浦町における共助交通の推進について  
～支え合いによる持続可能な地域交通～  
(企画政策課)



# 琴浦町防災マップの活用について

総務課防災危機管理室

# 1 防災マップについて

## (1) 防災マップとは

津波、土砂、浸水、地震などの自然災害が発生した際、被害の想定区域やその程度、避難場所などの防災関係施設の位置などを地図化したもの  
自然災害による被害の軽減や防災対策に活用される目的で作成

## (2) 防災マップの種類

- 洪水・浸水リスク図
- 津波浸水想定区域図
- 土砂災害警戒区域図
- 地震ハザードマップ

本町の防災マップには、

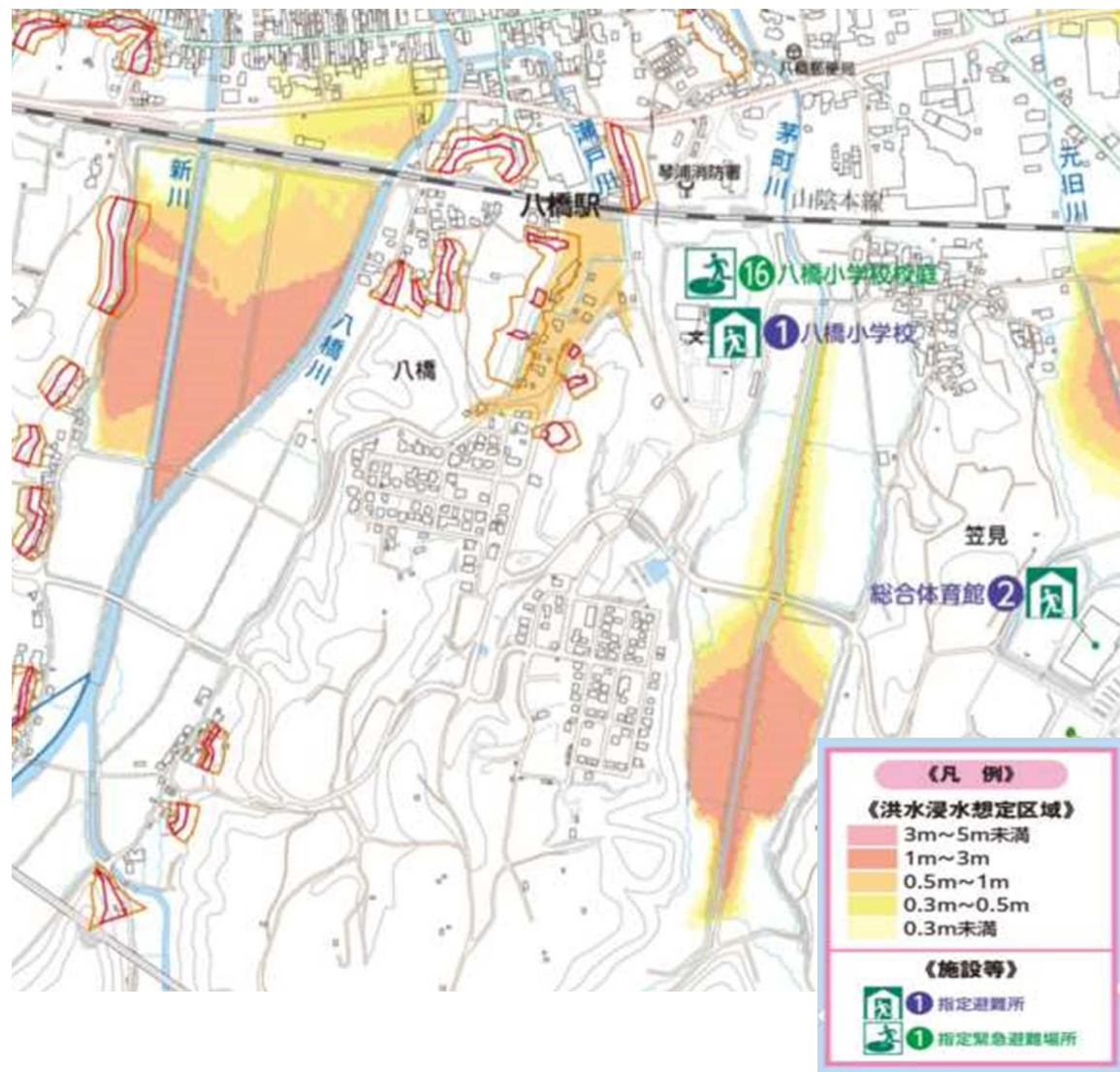
「洪水・浸水リスク図」「土砂災害警戒区域図」「津波浸水想定区域図」を掲載

## 2 防災マップの読み方

### (1) 洪水・浸水リスク図

- 豪雨や台風などで河川の氾濫が起き浸水した場合、想定される区域とその水深を色分けで記載
- 本マップでは、鳥取県が公表する洪水浸水リスク図を用い、時間雨量64.9mm相当を想定(50年確率)

(注) 当図で浸水が想定されない区域においても、浸水が発生する場合や、想定される浸水深が異なる場合があります



# 2 防災マップの読み方

## (2) 土砂災害警戒区域図

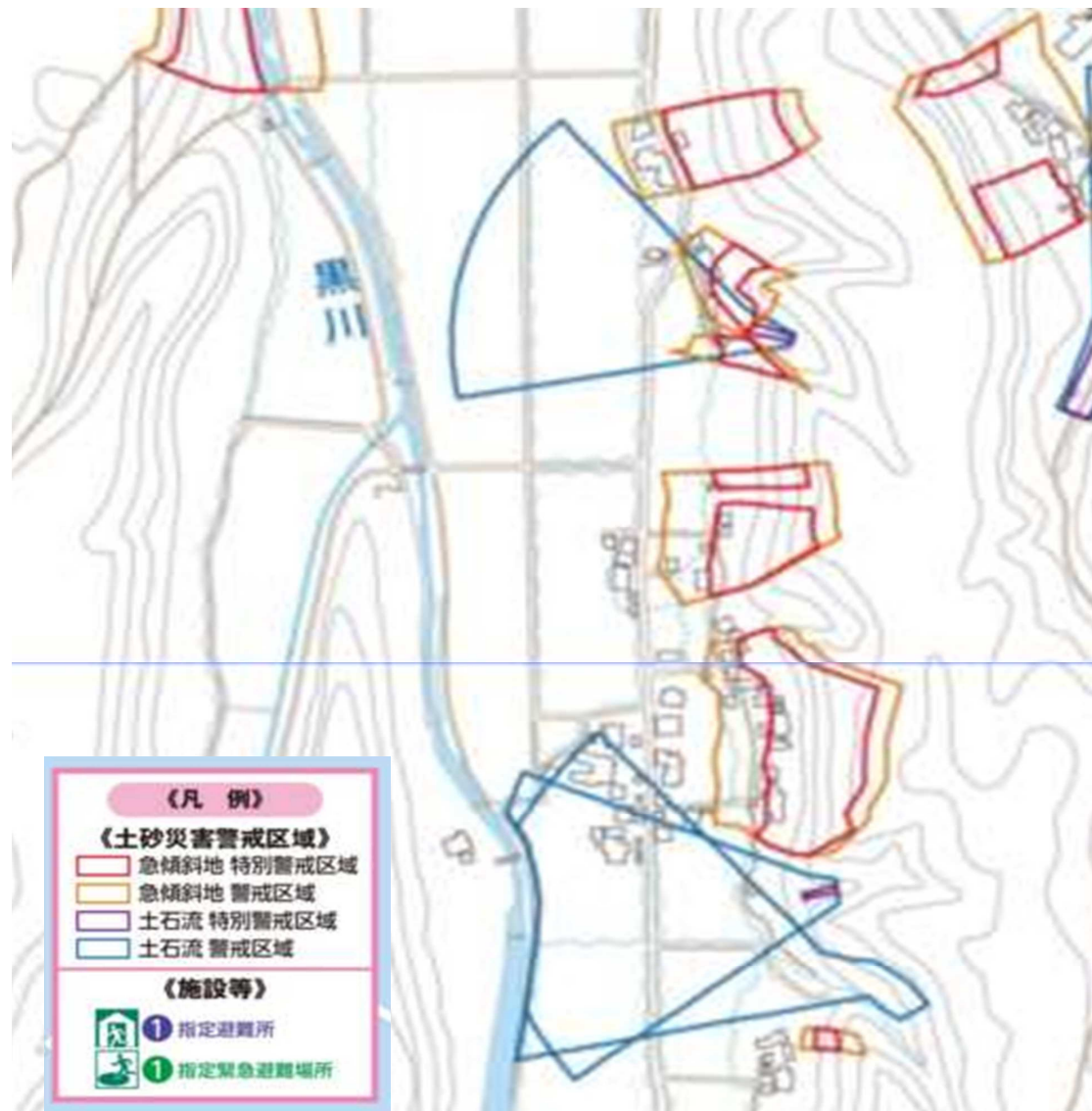
- 豪雨や台風、地震などでがけ崩れや土石流などの被害が想定される箇所や区域を記載

○警戒区域:

土砂災害により、生命又は身体に危害が生じるおそれがあると認められる区域

○特別警戒区域:

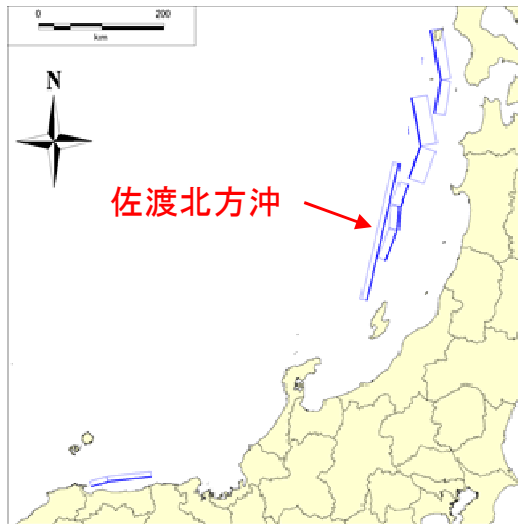
建築物に損壊が生じ生命又は身体に著しい危害が生じるおそれがあると認められる区域



## 2 防災マップの読み方

### (3) 津波浸水想定区域図

- 大規模な地震によって発生する津波の浸水想定区域とその水深が記載
- 本町で最も津波の被害が大きいと考えられる佐渡北方沖断層の地震を想定



# 3 防災マップの使い方

## 使い方1

お住まいの地域が、どのような災害の危険性があるか確認しましょう

自宅の周辺に、大雨や台風時に浸水する区域、土砂災害のおそれがある区域、津波の浸水区域がないか、防災マップで確認しましょう。



## 使い方2

家庭や地域で、避難のタイミングや避難先などを話しあいましょう

大雨や台風時に避難が必要となった場合、避難のタイミングや避難場所、避難先までの経路などを、家庭や地域で話し合しましょう。

地域においては、自主防災組織の設置、訓練・研修の実施、避難に支援が必要な方への支援体制などを検討していただきますようお願いします。



防災に関する問合せ、相談等は、防災危機管理室(電話:52-2111)までご相談ください。



# 新型コロナウイルスワクチン接種について

※R3.2.19現在

## 事業目的・概要

(すこやか健康課)

町民の新型コロナウイルス感染症予防を図るため、年度末年齢16歳以上となる町民約14,900人のうち接種を希望する町民に対しワクチンの接種を行います。

## 接種方法

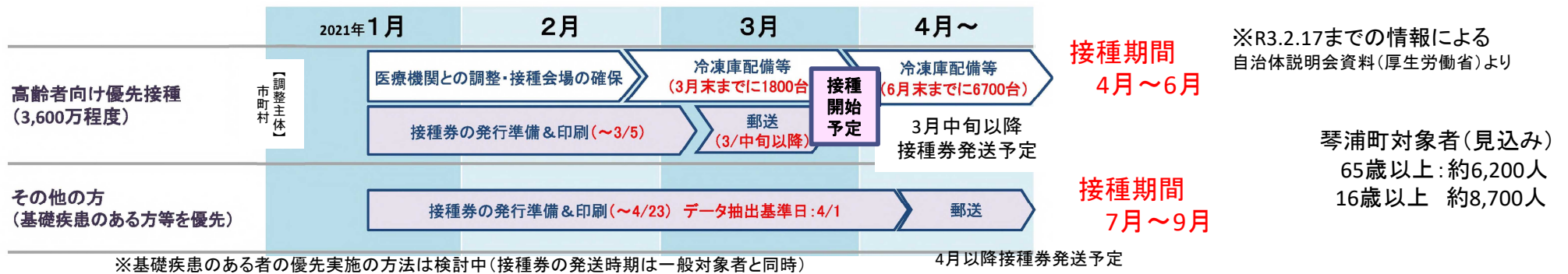
接種券の交付を受けた町民が直接、実施機関（医療機関または町（集団接種の場合））に予約を行い接種を受けます。

（回数：2回、接種間隔：21日以上または28日以上※ワクチンの種類によります。）

【実施方法】 集団接種・・・町の施設（保健センター）等において行う接種方法  
個別接種・・・医療機関（かかりつけ医等）において外来の方法により行う接種方法

実施方法については、県・医師会等と調整中です。

## 接種スケジュール



## 接種券の発送

発送については、個別に封書にて郵送を行います。

- ①令和3年度中に65歳以上となる方・・・3月20日ごろ発送予定
- ②上記以外の方・・・4月中旬頃発送予定（ワクチン供給の状況等をみて発送）

※琴浦町に住民登録がある方で町外にお住まいの方への接種券郵送のご協力について  
単身赴任や学生などで琴浦町に住民登録がある方のうち町外に居住しておられる方については、ご家族から郵送等お届けいただきますようお願いいたします。

## 接種の予約

集団接種によるワクチンの接種については、原則予約によりお願いします。（医療機関については、改めてお知らせします。）

【予約の方法】※3月中旬より受付開始予定

- ①電話による方法・・・接種券同封のチラシにある専用番号に電話いただき、必要事項をオペレーターにお申し付けください。
- ②ホームページから予約する方法・・・接種券同封のチラシにある2次元コードまたは琴浦町ホームページのバナーなどから予約ページにアクセスし、必要事項を入力してください。
- ③ラインから予約する方法・・・琴浦町公式アカウントに友達申請すると登録される予約専用アカウントで必要事項を入力してください。

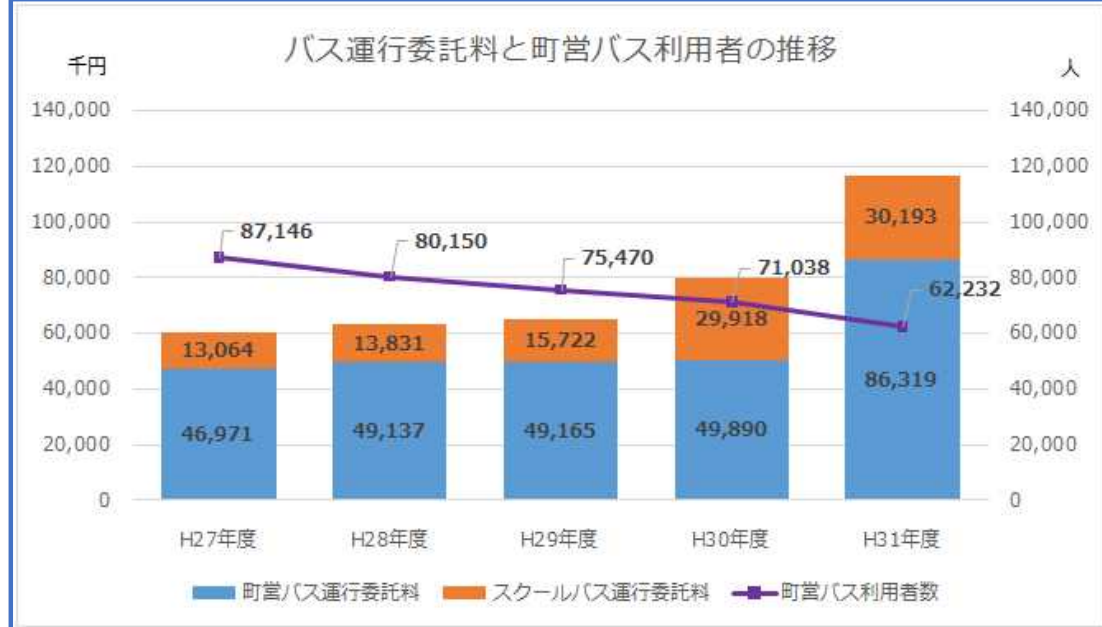
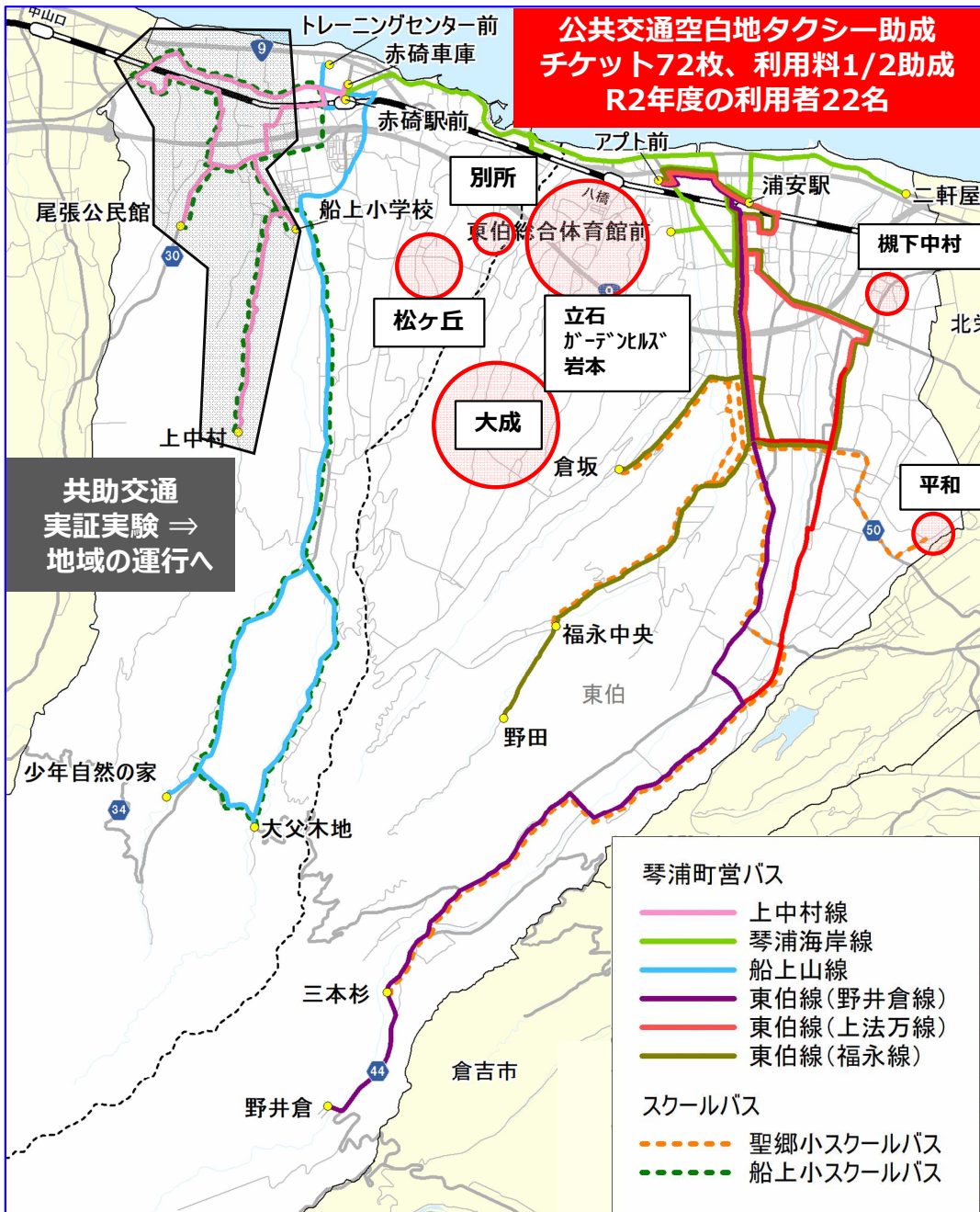


# 琴浦町における共助交通の推進 ～支え合いによる持続可能な地域交通～



企画政策課  
令和3年2月

# ① 琴浦町の地域交通の現状と課題



## 地域交通が抱える課題

- 運転手の不足 (なり手不足)
- 利用者の減少と経費の増加 (日中は少ない)
- 高齢者の移動ニーズの変化 (玄関前送迎)

持続可能な地域交通

人口減少、少子高齢化、社会構造の変化  
 様々な地域課題を町で対応することが困難

- バスの効率的な運行 (スクールバス混乗、便数・ルートの見直し)
- 収支の改善 (経費削減、収入アップ)
- 共助交通の推進 (高齢者の移動を支える)

## ② 共助交通の必要性

公共交通	交通事業者や地方公共団体が運行、利用者は限定しない (JR、路線バス、タクシー、町営バス)
共助交通	NPOや自治会などが運行、利用者を限定する (地域内のボランティア輸送、有償コミュニティバス)

### 高齢者の移動ニーズの変化

- ・ 運転免許保有率が増加し、自家用車を運転 ⇒ バス、タクシーに乗らない
- ・ 一方で免許返納者の増加（高齢者の事故、体力面での問題） ⇒ 移動手段の必要性
- ・ バス停までの移動が困難 ⇒ 玄関先での送迎ができるタクシー型の交通を希望
- ・ バスに乗らない、乗れない人が増加 ⇒ 事業収益の悪化、減便や廃止
- ・ タクシーは、ドライバー不足や赤字営業による規模縮小 ⇒ 予約待ちの発生

負のスパイラル



○ 不便な交通    ○ 利用者の減少    ○ 経費の増加

- これまでと同様の交通施策は継続困難
- 公共交通だけでは移動のカバーに限界

**地域の住民が必要とする移動を地域で支える仕組みが必要**

住民同士のつながりを軸に地域の課題を主体的に解決していく

住み慣れた場所でいつまでも暮らしていける地域づくり

### ③地域における共助交通の広がり

#### 安田・成美地区 共助交通実証実験



- ①実施主体 町、中央大学 **【助け合い交通こうら】**
- ②運行期間 11/2～12/25の2カ月間(毎日)
- ③利用時間 9時～16時
- ④運転手 住民ボランティア 10名(半日交替)
- ⑤利用者 安田・成美地区(一部)の住民
- ⑥運賃 無料(実験のため)
- ⑦利用方法 電話またはスマホアプリで予約
- ⑧運行形態 玄関前まで送迎
- ⑨運行車両 ワゴンR 1台(レンタカー)
- ⑩その他 予約・配車、安全管理は田中商店が実施

#### 徳万たすけあい トクトク会



- ①実施主体 徳万たすけあいトクトク会
- ②運行期間 9月～継続中
- ③運行回数 週に2回程度 主にアパートに送迎
- ④運転手 住民ボランティア 3名
- ⑤利用者 トクトク会会員 20名程度
- ⑥運賃 無料(ガソリン代の実費のみ)
- ⑦利用方法 電話でドライバーに予約
- ⑧運行形態 玄関前まで送迎
- ⑨運行車両 ドライバーの所有車を利用
- ⑩その他 買い物等の付添い支援費を受け取る予定

#### 古布庄地区 振興協議会無料送迎

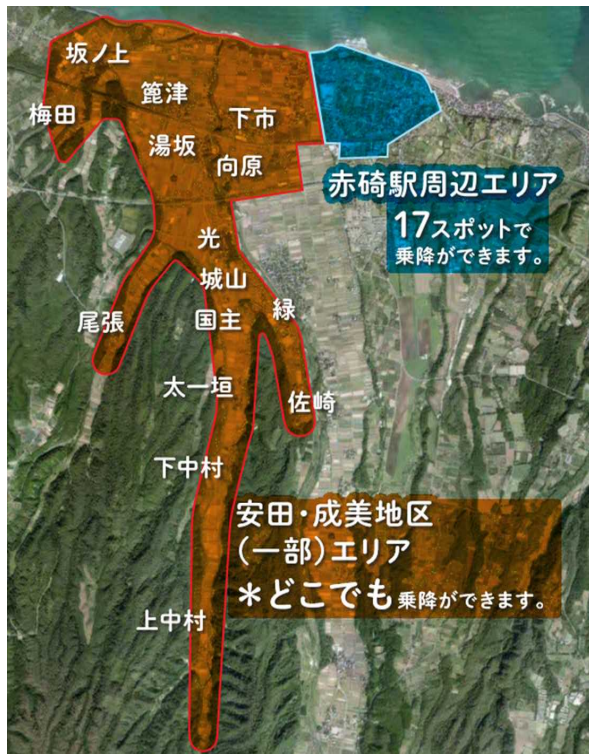


- ①実施主体 古布庄地区振興協議会
- ②運行期間 11月～1月の3カ月間(カフェ・百歳体操の実施日)
- ③利用時間 みなくるの開閉時間にあわせて運行
- ④運転手 住民ボランティア 1名
- ⑤利用者 古布庄地区の住民
- ⑥運賃 無料(実験のため)
- ⑦利用方法 電話で振興協議会に予約
- ⑧運行形態 カフェ、百歳体操参加者を玄関前まで送迎
- ⑨運行車両 ワゴンR1台(レンタカー)
- ⑩その他 古布庄地区全体への拡大を計画

#### 琴浦自分ごと化会議 からの提言(案)

1. 琴浦町民の移動のニーズ(実情)の把握を行い、日常生活に必要な交通手段の確保が困難な町民を支える。
2. 「町民の生活を支えるためには、どのような移動手段を確保する必要があるのか」の視点から、今後の公共交通のあり方を再検討する。
3. **将来にわたって移動手段を確保できるよう、地域と行政が連携し、町内の各エリアに合った共助交通を検討する。**
4. 暮らしを助け合える元気な地域をみんなで作っていく。

# ④ 共助交通実証実験の概要（助け合い交通ことうら）



- **人口**
  - ・ 1,342人
  - ・ 75歳以上 320人
  - ・ 割合23.8%
- **公共交通**
  - ・ 町営バス上中村線(前日予約) 1日上り4便、下り5便
  - ※一部スクールバス混乗
  - ・ タクシー
- **課題**
  - ・ 前日予約のため利便性が低い
  - ・ 利用が少なく、1便あたりの平均利用者が1.0人以下

## R1年度実績 町営バス上中無線の平均利用者数

路線名	上り					1日あたり 平均利用者数		下り					1日あたり 平均利用者数			
	便数	時間	発	⇒	時間	着	平日	休日	便数	時間	発	⇒	時間	着	平日	休日
上中村線	①	7:10	上中村	⇒	7:53	船上小学校	0.9	0.5	①	9:25	船上小学校	⇒	10:02	上中村	0.2	0.1
	②	10:03	上中村	⇒	10:40	船上小学校	0.2	0.2	②	13:30	船上小学校	⇒	14:07	上中村	0.1	0.1
	③	14:08	上中村	⇒	14:45	船上小学校	0.2	0.1	③	15:30	船上小学校	⇒	16:07	上中村	0.1	0.1
	④	17:08	上中村	⇒	17:45	船上小学校	0.0	0.0	④	16:30	船上小学校	⇒	17:07	上中村	0.1	0.0
									⑤	17:46	船上小学校	⇒	18:23	上中村	0.6	0.5

### 予約から利用の流れ



## ⑤ 共助交通実証実験の結果

- 上中村線の11月～12月の2カ月間について、9～16時の町営バス運行を住民ドライバーによる送迎に代替
- 利用者は2か月間で**計22名**（関係者を含めると28名）
- 2カ月で**延べ157人**、1日当たり**平均2.9人**の利用

- 日中の便について、**1日当たり0.8人**の利用であったが、実証運行では**1日当たり2.9人と増加**した。
- コロナ禍以前であるR1年度（H31年度）と比較しても、R2年度の4～10月までは前年度の半減など減少する中、実験を行った11、12月は、**前年度の同月比で4～5倍**となっている。
- 利用が増えた要因は、**①運賃無料、②玄関前での送迎、③事前予約不要**であり、便利な交通であった。

分類	意見内容
利用者の声	<ul style="list-style-type: none"> <li>共助交通について利用者の4割が絶対に必要と回答。6割の方が今後も利用したいと回答。</li> <li><u>お金を払ってでも、ぜひ運行してほしい。</u></li> </ul>
住民ドライバーの声	<ul style="list-style-type: none"> <li><b>多様な交通手段</b>があってしかるべき</li> <li><b>多様なニーズへの対応</b>が必要（MaaSの考え方）</li> <li>自分たちも<b>免許返納した場合には、このシステムが必要</b></li> <li>毎日運行しなくても、<b>月水金など、曜日限定</b>でもよい</li> <li>ボランティア形式ではなく、午前、午後、それぞれ<b>1,000円くらいの報酬がある方が継続性がある</b></li> </ul>

- ドライバーが少しでも報酬を受け取るができる
- 利用する高齢者が支払いやすい料金
- 玄関前送迎による便利で効率的な運行
- ドライバーの負担にならない範囲での運行

### 共助交通の仕組みづくりを支援

- ①実証実験事業補助金（上限185万円）
- ②運営事業補助金（上限200万円）

